



自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

# Eジャーナルしずおか

平成29年(2017年)  
5月9日  
火曜日  
第187号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3134 FAX 054-221-3561 E-mail kyou\_saisaku@pref.shizuoka.lg.jp

## 西部特別支援学校が新校舎に移転しました!!



新校舎の落成式典で代表のあいさつをする児童生徒

西部特別支援学校(浜松市北区根洗町)の新校舎が平成29年3月に完成し、真新しい校舎で子どもたちが生き生きと新年度をスタートさせています。新校舎は、今までより医療機関が近くなり、肢体不自由の児童生徒にとってより安全・安心な教育環境となっています。

西部特別支援学校には、車椅子や歩行器等を使って生活する児童生徒が多く学んでいます。新しい校舎には、次のような特徴があり、人にも環境にもやさしい学校となっています。

- ※旧校舎に比べ、校内(廊下、エレベーター、食堂、トイレなど)のスペースが広い
- ※全教室に冷暖房を完備
- ※太陽光発電・LED照明を完備
- ※教室等の内装や体育館に県産木材を使用

新しい校舎で学び始めた児童生徒からは、「明るくて広い」「行動範囲が広くなり、グループでまとまりをもって行動がしやすい」といった感想が聞かれ、より学びやすい環境で一層充実した学校生活を送っています。



【特別支援教育課】

## 幼児期[3歳から5、6歳]のお子さんを持つ方、教育・保育に携わる先生方へ



子育てや教育・保育で困っていることはありませんか?

ふじさんっこそだてメールはなにができるの??

- 🐣 **子育てQ&A**  
子育てや教育・保育に関するQ&Aが満載! 簡単検索機能ですぐに知りたいQ&Aが見つかります。
- 🐣 **お役立ちリンク**  
子育てや教育・保育に役立つホームページを紹介します。
- 🐣 **お知らせ**  
静岡県の子ども向けイベントや講演会などのおトクな情報をお知らせします!

### 〈子育てQ&A〉

文部科学省が取りまとめた「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の実現に向けて、園やご家庭で起こりうる問題点や不安に回答できるよう74の具体的な質問(Q)とそれに対する答え(A)を作成しました。今後もQ&Aを更新していく予定です。



## 幼児教育推進マスコットキャラクターの紹介



愛称:「わっぴょん」

静岡県就学前教育情報発信サイト「わっ」を基に名付けました。「わ」は、幼稚園・保育所・こども園・小学校が連携して作り出す「和」と「まる」を意味する「輪」をイメージしています。

- \* 帽子は「わっぴょん」が大好きな「みかん」を、服は静岡らしい「富士山」を、そしてポケットの緑は「お茶」を表しています。
- \* 「わっぴょん」は、お日様大好き、友達大好き、ママも大好きなちょっと甘えん坊さんです。いつも元気にびよんびよん飛びまわっている「わっぴょん」ですから、就学前から就学にかけての段差も、「びよん」と飛び越えていけそうです。

スマートフォンアプリで子育て支援  
静岡県幼児教育センター発  
『ふじさんっこそだてメール』

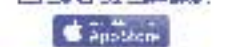


\*そだてメール?  
「育てる」と「メール(応援)」を合わせたネーミングです。皆さまに長く親しんでいただけるとうれしいです。

【無料ダウンロードはこちら】

①Playストア/App storeを起動

② ふじさんっこそだてメール



【幼児教育センター】

## 組織全体で進めるICT化 清水南高等学校・同中等部の取り組み

県立清水南高等学校・同中等部では、教職員全体で生徒たちの学びの質の向上を図るために、学校独自のICT教育環境整備に取り組んでいます。同校でICT活用を担当している高松教諭にこの環境整備について聞きました。

教育政策課: ICT環境整備を進めたきっかけを教えてください。

高松教諭: 現在の学習環境にICTを加えることで、生徒たちがますます意欲的・主体的に学ぶようになり、生き生きと自己表現できると考えました。ICT環境整備は今後、全ての学校における重要課題となるのは必至だと思います。本校では、生徒たちの意欲的・主体的な学びを実現させたいという、教職員全体の強い思いにより、ICT機器の整備計画を立て、着実に実現させてきました。

教育政策課: 整備を進める上で課題はありましたか?

高松教諭: 課題は、主に3点ありました。(右図上段)

教育政策課: さまざまな課題がある中で、どのような取り組みをされたのですか?

高松教諭: 本校では4つの改善に取り組みました。(右図下段)

教育政策課: 学校全体でICT教育を進めてきた中で変化はありましたか?

高松教諭: 最も大きく変化したのは生徒たちの学びの質が向上したことです。今後も主体的・対話的で深い学びを実現するために、学校全体でICT教育について研究していきたいと思っています。

清水南高等学校・同中等部の取り組みを参考に、皆さんの学校でもICT活用のための取り組みを進めてみてはいかがでしょうか?

【教育政策課】

### 課題

- (1) ICT環境整備を推進するための校内組織の専門委員会がない
- (2) 学校経営予算の配分について、ICTに詳しい教職員が関わる場がない
- (3) 教員のICT活用能力に差があり、研修する機会が少ない

### 改善

- (1) 校内組織の改革
  - ・分掌、教科、学年などの枠組みを超えて構成する「ICT環境整備委員会」を設置
  - ・委員会の目的・役割、業務全般に関わるICT機器を充実させ、管理すること
- (2) ICT機器の有効活用
  - ・既存の機器利用の委員会が取りまとめ、管理を一元化
  - ・教科や学年を限定せず、全ての教員が簡単に機器を使用予約できる貸出システムを作った
  - ICT機器が使われない状態で学備室等に置かれていたことがなくなり、教職員全体で利用できるようになった
- (3) ICT環境整備3カ年計画
  - ・単年度ごとに整備を考えるのではなく、長期的な整備として計画を作り、生徒や教職員の要望を最大限に反映できるようにした
- (4) 教員のためのICT授業研修
  - ・少しずつ目標レベルを上げながらICTを活用した授業研修を行った
  - ・今では「アクティブ・ラーニングとICT活用」という授業の本質に関わる授業研修にまでレベルアップした



実践NOTE 373

# 生徒指導にICTを導入した取り組み

教育政策課 情報化推進班長 佐藤 公彦



全校集会で生徒を指導する様子

前任の静岡西高校では生徒指導主事を2年間務めました。生徒指導は、対人の問題を扱うので、臨機応変に対応しなければならぬ部分と常に変わる部分とが混在します。日頃生徒に伝えたいことをいかに伝え、その内容を生徒が心に残してくれるためにはどうしたらよいか考えている教員が多いと感じています。そこで今回は、ICTを生徒指導に活用した取り組みを紹介し、その有用性と今後の生徒の反応をまとめます。

## 1 長期休暇前の生活指導での利用

生徒指導主事として、欠かせない重要な役割の一つは、長期休暇前後の生活についての指導ではないでしょうか。生徒が事故や事件に巻き込まれることのないよう、長期休暇前には、学校から生徒に伝えるべきことが数多くあります。静岡西高校では、長期休暇前の全校集会で、休暇中の注意事項について説明する時間を取っていました。このとき、単に口頭で伝えるのではなく、プレゼンテーションソフトを使って、舞台上のスクリーンに注意すべきポイントを示しながら、指導するようにしました。

## 2 交通事故現場の検証

静岡西高校は市街地から約5km西に位置し、全校生徒の約95%が自転車通学をしています。そのため、平成27年度の交通事故件数は23件ありました。これは同年の静岡市内の高校生の事故件数が275件(静岡県交通安全協会統計)であることを考えると、決して少ない数ではありません。事故の状況によっては、実際の事故現場に行き、交通法規のつとって自転車を運転していたか、反省を促す指導をします。事故現場が学校から遠く、行くのが難しい場合には、グループマップを使って指導を行うようにしました。パソコンの画面上であつても、道路に立つた目線で実際に事故が起った場所を確認できるため、当事者である生徒にその時の状況をより細かく思い起こしてもらおうかと思いました。この方法は、行動やその原因が分かり、生徒たちに休暇中の生活について注意を呼び掛けることにももちろん、そのルールの意味を改めて理解してもらおうという点でも、有効だったと感じています。



グループマップのストリートビュー機能を利用して事故現場を確認

## 3 体育館を視聴覚会場にした取り組み

昨年度の交通安全教室では、NPO法人『いのちのミュージアム』代表の鈴木共子さんを講師にお招きし、『いのちの授業』を実施しました。授業の中では、造形作家でもある鈴木さんが、無免許、飲酒運転による交通事故で一人息子を亡くしたことをきっかけに、命をテーマにした写真や絵、舞台などを通して、命の大切さを発信する活動を始め、『いのちのミュージアム』を立ち上げるまでの経緯を映像で紹介しました。



視聴覚会場化した体育館

体育館で映像を見る際は、舞台上のスクリーンだけではなく、側面にも布製のスクリーンを垂らし、複数のプロジェクターを使って、後ろにいる生徒にも映像が見えるように工夫しました。

実践NOTE 374

# 地域・保護者との連携を意識した学校づくり

湖西市立新居中学校 教諭 鳥居利之



筆者

## はじめに

本校は「地域に開かれた学校」を目指し、家庭・地域社会との連携強化を図りつつ、生涯学習社会に必要な資質や能力の育成に努めています。保護者及び地域の方々の教育に対する関心は高く、子どもたちを地域で育てようという意識が強く感じられます。また、学校教育に寄せられる期待も大きく、部活動をはじめ、さまざまな行事で協力をいただいています。

## 「総合的な学習の時間」における地域との連携

総合的な学習の時間では、地域に貢献していくことができる人材の育成をねらいとした学習を行います。



防災教室の様子

★防災教室(1年) 新居町災害ボランティア

★未来講座(2年) 2年生では、キャリアア



未来講座で競艇選手の講話を実施

アの方が中心となり、大規模災害に備えるための防災講座を実施しています。市役所危機管理課、消防本部、社会福祉協議会等、地域の方々のご指導の下、炊き出し訓練や煙体験、消火体験、起震車による地震体験、段階別避難所体験など生徒たちは一日でさまざまな体験をします。教員主導ではなく、地域の専門家から学ぶことで、生徒たちは自分たちの暮らす町について強く意識するとともに、防災をより身近なものとして捉えることができます。指導をただ受けるのではなく、自ら課題を持って積極的に取り組む姿が見られるなど、大変意義のある活動となっています。



「新居の手筒火花」で使われる手筒を作る生徒

## ★伝統文化活動(3年)

総合的な学習の時間が創設される以前から行われてきた活動です。地域の方々を講師に招き、地域に根ざした伝統や文化を学びます。生徒たちは剣舞、詩吟、華道、三味線、います。



Photo:Y.Inokuma シアタースクール2016 「オズの魔法つかい」より

手筒づくりなど全部で13ある講座の中から好きなものを選んで活動します。平成28年度は、年間14回行いました。活動の成果を文化発表会や新居地区の芸能祭等で発表することもあり、講師の先生方も大変熱心に指導してください。

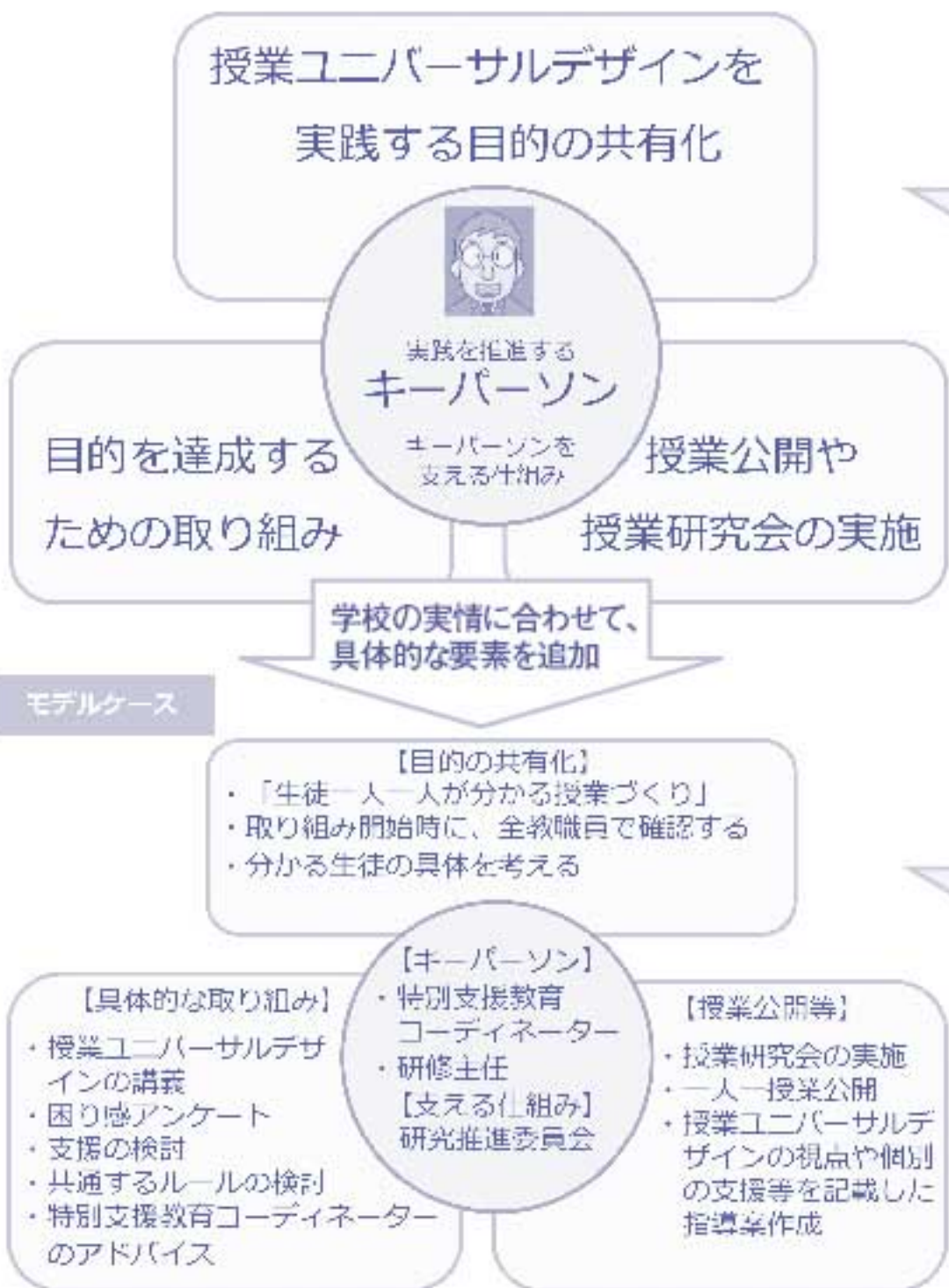
SPAC・静岡県舞台芸術センターでは、専属劇団による創造・公演に加え、さまざまな人材育成・支援活動を行っています。その一つである「シアタースクール」は、学校では触れることのできない演劇の面白さ、奥深さを知ってもらおうことを目的として、平成19年にスタートしました。

県内全域から参加者を募集し、SPAC俳優による指導の下、「舞台上に立つためのからだづくり」を学び、公演に臨みます。ぜひ今年の夏休みは、皆さんの個性あふれるエネルギーを舞台の上で発揮してください!

■参加期間 平成29年7月8日(土)～8月20日(日)  
■発表会 8月19日(土)、20日(日)  
■会場 静岡芸術劇場(グランシップ内)  
■応募資格 中学校1年生から高校2年生までの方  
■募集時期 6月10日(土)まで  
■問 SPAC・静岡県舞台芸術センター  
054(203)5730



### 一授業UDを広げるための校内体制モデル



特別な支援を必要とする生徒を含め、全ての生徒が「分かった!できた!」という学びの実感を得られるように、全教職員が共通理解してユニバーサルデザインの授業づくりに取り組む校内体制を整えましょう。

**ここがポイント!**  
 キーパーソンを柱にして、  
 ①明確な目的の共有  
 ②授業UDへの意識を持続させる具体的な取り組み  
 ③授業公開等を計画することが重要です。  
 特に②については校内研修や生徒へのアンケートなど学校の実状に合わせてさまざまな取り組みを行うことが必要です。

**子どもが変わる! 学校が変わる!**

**中学校・高等学校にユニバーサルデザインの考え方を生かした授業を広げるために**

学校の実状に合わせた校内体制モデルの構築を

※授業ユニバーサルデザイン(UD)とは?  
 全ての生徒にとって、「生活しやすい」学校・学習環境、「分かる」授業をデザインすること

【総合教育センター特別支援課】

※他のモデルケースや具体的な取り組みは、総合教育センターHPに掲載しています

### 「わたしの主張2017」静岡県大会in 函南町 発表作品大募集!!

○内容  
 ・中学生が、日常生活で体験した出来事から感じたこと、将来への希望や未来への提案、社会や世界に向けての意見など、自由な発想で思いを主張する大会です。  
 ・応募についての詳細は、各中学校に配付したポスター、募集要領をご覧ください。

○応募締切 ※当日必着  
 ・政令市…静岡市 6月16日(金)  
 浜松市 6月14日(水)  
 ・政令市以外の市町…6月6日(火)

○静岡県大会  
 ・8月22日(火) 函南町文化センターで開催。  
 最優秀賞受賞者は11月に東京で開催される「少年の主張」全国大会を目指します。

問 社会教育課 ☎054(221)3312



発表時は服装、小道具などパフォーマンスの取り入れも可能です

### ～あなたの掛けた一言が子どもたちを支えます!～ 地域の青少年声掛け運動

新ポスターです。静岡産業大学情報学部の学生が作成しました

○内容  
 この運動は、地域の子どもたちに周りの大人の誰もが温かなまなざしを向け、「おはよう」「頑張っね」などの声を掛け、積極的に関わることで、子どもたちの健やかな成長を支援していこうという県民参加型の運動です。

○地域の青少年声掛け運動に参加しましょう!  
 教職員の皆さんもぜひ積極的な参加をお願いします。また、PTA等を通じて保護者や地域の方々にも参加を呼び掛け、学校、家庭、地域が一体となって子どもたちを守り育てていきましょう。

問 社会教育課 ☎054(221)3313



### 「進路相談」と「体験入学」について ～特別支援学校高等部へ進学を希望する方へ～

特別支援学校高等部の「進路相談」及び「体験入学」を受けましょう

特別支援学校高等部は、高等学校と同じように入学に際して募集定員があります。募集定員は、各特別支援学校が実施する中学校や特別支援学校中学部の3年生を対象とした「進路相談」や「体験入学」の結果を踏まえ、県教育委員会が年ごとに策定しています。

「進路相談」や「体験入学」は、高等部の募集定員に影響を与えるだけでなく、生徒が、特別支援学校高等部での教育は自分自身に最も適しているかを考えるとともに、将来の希望や自分の持っている力などについて、見つめ直す大切な機会となります。特別支援学校高等部への進学を希望する方は、「進路相談」及び「体験入学」を7月末までに必ず受けてください。

「進路相談」や「体験入学」は、在籍する中学校や特別支援学校中学部を通して各特別支援学校に申し込んでください。

高等部進路相談及び体験入学を実施する県立特別支援学校

学校名	進路相談実施日	体験入学実施日
沼津視覚	随時	随時
静岡視覚	随時	随時
浜松視覚	普通科:6/21(水) 専攻科:随時	随時
沼津聴覚	6/14(水)	同左
御殿場	6/13(火),20(火),22(木),23(金)	同左
沼津	他校生:6/9(金),12(月),14(水),16(金),19(月) 本校生:7/5(水),7(金)	同左
伊豆田方分校	6/8(木),13(火),15(木),29(木)	同左
愛鷹分校	6/12(月),16(金),19(月),23(金)	同左
富士	6/2(金),5(月),8(木),9(金),12(月)~14(水) 予備日:6/20(火),21(水)	同左
富士宮分校	6/12(月),14(水),15(木),19(月),21(水)	同左
清水	6/2(金),14(水),16(金),21(水)	同左
静岡北	5/30(火)~6/1(木),6(火)~8(木)以降随時	同左
南の丘分校	随時	5/29(月)~6/1(木)
藤枝	他校生:6/19(月)~21(水) 本校生:7/4(火),5(水)	同左
焼津分校	6/27(火)~29(木)	同左
吉田	6/7(水)~9(金)	同左
掛川	6/1(木)~23(金)	5/24(水)
御前崎分校	5/29(月)~6/9(金)(土日を除く)	説明会:5/18(木) 体験入学:随時
綾井	6/1(木)~30(金)(土日を除く)	見学会:5/26(金) 体験入学:随時
磐田見付分校	5/29(月)~6/30(金)(土日及び6/2(金),5(月)を除く)	見学会:5/18(木)
浜松	5/31(水)~6/30(金)(土日を除く)	5/23(火),26(金),30(火)
城北分校	5/16(火)~26(金)(土日を除く)	説明会:5/8(月),15(月)
浜北	6/1(木),2(金)	同左
浜名	5/31(水)以降随時	同左
東部	6/14(水)	同左
伊豆高原分校	5/31(水),6/1(木),7(水)その他随時	同左
伊豆松崎分校	6/8(木)	同左
中央	6/1(木)	本校生:6/15(木) 他校生:6/16(金)
西部	6/2(金)	随時
天竜	随時	説明会:6/29(木) 体験入学:随時

【特別支援教育課】



★ キャリア教育・国際理解教育の推進、異業種・異職種交流に

## 「日中青年代表交流」の参加者募集中!!

県教育委員会では、今年友好提携35周年を迎えた中国浙江省と青年(20代～40代)の相互交流事業を行っています。現在、今年度の参加者を募集しています。

アリババ集団等の中国企業や日系企業の視察、ホームステイ等、個人旅行では決してできない貴重な経験の他、県内のさまざまな業種の参加者との交流ができます!

教職員としての今後のキャリアに必ず生かせる内容です。皆さまの応募をお待ちしています。



本交流に参加した県所管公立学校教職員は、中堅教諭等資質向上研修の「社会体験研修」を実施したものとみなされます。

- 概要 2回の交流と、4回のセミナーを予定
  - 《交流》両県の青年が相互に訪問し、ホームステイや企業・学校等への視察研修を行います。(静岡県交流の実施については、調整中です)
    - ・浙江省交流(中国浙江省、上海市を訪問) 平成29年8月9日(水)～16日(水)
    - ・静岡県交流(県内で浙江省の青年を受入)※調整中
  - 《セミナー》中国事情や中国語を学ぶ講座等を行います。
    - ・平成29年7月～12月(予定)の土曜日、計4回
- 対象 中国との交流に関心のある、県内在住または通勤・通学している20代から40代までの方
- 定員 30人
- 費用 15万円(教職員の方は、上限7万5千円の助成を受けられます)
- 申込締切 平成29年5月31日(水)

申・問 社会教育課 ☎054(221)3305 [日中青年代表交流](#) で検索

## 消費者教育の指導のポイントが学べます!!

～「教員向け消費者教育講座」受講者募集～

国では成人年齢を現行の20歳から18歳へ引き下げる民法の改正を検討しています。

成人年齢が引き下げられると、18歳から親の同意なくローンやクレジットカードなどの契約が結べるようになる一方で、高額の契約をしても取り消すことができなくなるため、消費者トラブルに巻き込まれる可能性が大きくなります。

そのため、早い段階から学校において消費者教育を実施することが必要です。中学校の次期学習指導要領案でも、売買契約の基礎、計画的な金銭管理、消費者被害への対応など、消費者教育を取り扱うことが盛り込まれています。

県では、学校現場での消費者教育を充実していくことを目的に、本年度も「教員向け消費者教育講座」を開催します。

消費者トラブルの現状や消費者教育の指導のポイントが学べる研修ですので、ぜひ、ご参加ください。



- 日時 平成29年8月8日(火) 10:30～17:00
- 内容
  - ・子どもの消費者トラブルと対応
  - ・学校における金融教育の実践事例と指導のポイント
  - ・消費者教育の教材開発と学校授業での活用
  - ・実践すぐに活用できる消費者教育指導のポイント ほか
- 会場 静岡県教育会館(静岡市葵区駿府町1-12)
- 定員 30人
- 申込締切 平成29年7月21日(金)までにお電話でお問い合わせください。

申・問 県民生活課 ☎054(221)2257

## 家族で海を満喫!「エンジョイ家族」

～未来に向かってこぎだそう～

焼津青少年の家主催の人気イベント「エンジョイ家族」では、潮の香りや風を感じながら、焼津の海でカヌーと海釣りが体験できます。また、夜のパーティーや創作活動、少し早めの夏祭りも楽しめます。家族同士の触れ合い、お子さんと一緒に創作活動、日常とは違う景色の中でのおいしい食事など、焼津青少年の家で、忘れられない思い出を作ってみませんか。

- 日程 平成29年6月17日(土)から18日(日)〈1泊2日〉
- 対象 家族・親子(17 家族)
- 参加費(予定)
 

小学生以上	4,400円
3歳以上	3,200円
3歳未満	1,400円

※別途活動費(海釣りの餌代など)が必要な場合があります。
- 申込締切 平成29年5月27日(土)午後5時まで(お電話にて)
  - ※申込多数の場合は抽選



申・問 焼津青少年の家 ☎054(624)4675

## 考古学セミナー参加者募集(参加無料)

県考古学の最新の研究成果を、埋蔵文化財センター職員が分かりやすく紹介するセミナーです。皆さんも古代のロマンを感じてみませんか。

- 日程
  - 第1回 平成29年6月17日(土)「弥生土器の見方教えます」
  - 第2回 平成29年7月20日(木)「出土から展示まで」
  - 第3回 平成29年9月21日(木)「(仮)イホハラの考古学①」
  - 第4回 平成29年10月21日(土)「(仮)イホハラの考古学②」

※1回だけの参加でもOKです。
- 場所 静岡県埋蔵文化財センター(静岡市清水区蒲原5300-5)
- 時間 14:00～15:30(受付13:30開始)
- 定員 50人(先着)
- 申込 電話・Eメール・FAXにて氏名、連絡先をお伝えください。

「イホハラ」とは?  
静岡市東部を中心とする地域の古墳時代のクニの名前であったと考えられています。また、その地域を治めていた氏族がイホハラノキミであったともいわれています。



申・問 県埋蔵文化財センター ☎054(385)5500 ☎054(385)5506  
Eメール maibun\_tyosa@pref.shizuoka.lg.jp

第10回記念  
平成29年度  
**しずおか新聞感想文コンクール**

小・中・高校生が新聞を通じて活字に親しみ、読解力と表現力を養うとともに、地域や社会への関心を高めてもらう事を目的に実施しています。毎年、県内の多くの学校からご応募をいただいています。

**作品募集中**

動け、静岡。  
**超SBS**  
静岡新聞 SBS

応募締切 平成29年9月11日(月)必着

- 賞 各部門、最優秀賞1人、優秀賞2～3人、入選2～3人、奨励賞、特別賞、応募者全員に参加賞、各部門の優秀校に学校賞(団体賞)
- 発表 上位入賞作品と全入賞者名を静岡新聞紙面に掲載します
- 表彰式 平成29年12月9日(土)、静岡新聞放送会館18階森ホールで入選以上の入賞者を表彰※表彰状、盾、副賞を贈ります

【お問い合わせ:要項請求先】  
静岡新聞社 読者部内「しずおか新聞感想文コンクール」事務局  
電話:054(284)8984(月曜～金曜、9時～17時 ※土・日・祝日は除く)  
メール:kansobun@shizuokaonline.com  
静岡新聞NIE <http://www.at-s.com/blogs/nie/>  
(当サイトから要項をダウンロードできます)

主催:静岡新聞社・静岡放送 後援:静岡県教育委員会、静岡市教育委員会、浜松市教育委員会、静岡県校長会、静岡県私学協会 協力:静新会